

佐波川流域防災訓練

in 上流域

官民協働による
発災対応型避難訓練



いつ!どのタイミングで...

避難

山口市徳地島地 徳地地域交流センター 島地分館

10月31日(土) AM 8:00 受付
AM 8:30 開会式
PM 3:30 終了

平成21年7月21日の早朝からバケツをひっくり返したような雨が降り続き、佐波川流域一帯を含め、県内各地で想像を絶する土砂災害が発生し、多くの人命を失う大きな被害となりました。

この災害を予知したわけではありませんが、一昨年(2007)と昨年(2008)に「その時!どこに逃げる」をテーマにして、官民協働型佐波川流域防災訓練を実施してきました。特に昨年の訓練は、1年前の7月21日に今回の被災地である佐波川中流域の防府市小野地区で地域の自治会を中心に小学校・消防団・私設消防団と連携した住民参加型の実動訓練を実施しました。この訓練で地域の方々が「どんな災害が起こるか?」を考え、実際に体を動かしながら「備え」を体感し、地域が組織的に災害対応する自主防災組織の必要性や災害時要援護者の避難対応の難しさなど、地域防災における災害観を共有できたことで「7.21山口・防府豪雨災害」の対応に何等かのプラスになったのではないかと考えています。

今回の訓練は、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」を引き起こした集中豪雨が訓練対象地域である島地川上流域に襲いかかるといった洪水の想定により、地域防災組織(自主防災組織・消防団)と行政(支所・公民館)が連携して、「いつ!どのタイミングで避難」をテーマに発災型の実動避難訓練を実施します。

このことから中山間地域の地域防災の課題や問題点を抽出し、学官民で検証することから『災いに負けない』防災地域づくりを進め、住民一人一人に「備えの心」が育まればと思います。

佐波川流域防災訓練実行委員会 委員長 瀧本 浩一

主催 佐波川流域防災訓練実行委員会、国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所

協働 山口大学、防府/防災ネットワーク推進会議

後援 気象庁下関地方气象台、山口県、山口市、周南市

山口市島地地区自治会連絡協議会、徳地総合支所、徳地地域交流センター島地分館、山口警察署、山口市消防団徳地方面隊第2分団、周南市和田支所、陸上自衛隊第17普通科連隊、山口市社会福祉協議会徳地支部、防府市社会福祉協議会、NTT西日本-山口支社、山口ケーブルビジョン、山口県技術士会、ひのきしん隊、水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊、サバリバストーリー、減災研究会、小野水辺の空間利用を考える会、防府市聴覚障害者災害対策協議会